

第44回 筑志会

和やかに再会を楽しむ

当誌文芸欄に短歌や俳句などを投稿する仲間たちでつくる「筑志会」の第44回定例会が6月23日、筑西市岡芹のJA北つくば本店で開催されました。今回は会員8人が出席し、近況などを報告しながら交流を深めました。



鈴木勇会長は「梅雨の時期は体調を崩しやすい。夏風邪にはとくに気をつけて、元気な顔で皆さんに会いたい」とあいさつ。続いて参加者全員で恒例となった「筑志会教え唄」を唱和し、心を一つにしました。その後、会員たちは近況などを報告したり、短歌や俳句などの作品を披露しながら楽しいひとときを過ごしました。

人生に八十八回夏が来て今年も実る茄子胡瓜みのなすきゅうり

田植えする小学生の実習が可愛い声にしばし見とれる

五月晴れ朝日を受けて岩の苔緑に光り輝き増せりさつきば いわ こけむらり かがやま

紫陽花の梅雨潤れしかな色褪せし梅雨の頂きひかり潤う

精農の植田に水の張られけり

古代より紫峰筑波と称さるる早朝散歩に拜すむらさき

風向きに室の八島の森を見るむかしを偲ぶ夏田中なり

若竹の高枝渡り鶯の澄んだ鳴く音や長閑な日和

鈴木 勇

木城 鷹七

大木 里山

谷島 恵子

野口きみ子

渡辺 フク

川味 飛仙

佐藤 隆三